

議事概要

地球・環境・未来会議 in みのわ（第1回）議事概要

日時：令和8年2月25日

14:00~16:30

場所：地域交流センターみのわ

研修室A・B

【第1部】

1 基調講演

本会議のオブザーバーである、法政大学社会学部教授 茅野恒秀 氏から講演があった。
内容は資料0のとおりである。

【第2部】

1 開会

2 委員委嘱

机上交付により委員に委嘱書を交付した。

3 町長あいさつ

町長：

大変多くの方にお集まりいただきましてありがとうございます。

箕輪町では令和4年（2022年）7月にゼロカーボンシティ宣言を行いました。その中で2050年までにCO2の排出量実質ゼロを目指すということを表明し、これまでゼロカーボン関連事業を進めてきました。

この課題に対する町の思いとしましては、誰もがやらなければならない、すべての市町村が取り組まなければならないことであり、どうせやるなら早くやったほうが良い、ということです。今できることをやらなければ、2050年を迎えることはできない、といった思いもありました。この課題は、人口減少問題と同じで、放っておいても何とか私たちの世代は経過しそうな気がしますが、将来世代のためにそんなことは言ってられません。

一方で、宣言をすることは誰でもできるわけで、宣言における高いハードルに対しての挑戦は簡単なものではないので、みんなでやっていきましょうということ、宣言して以来申し上げてきました。町に関するあらゆる分野で取り組んでいきたいということで、役場全庁を挙げてお願いしてきたところです。

特に公共施設については、国の補助事業を活用し、役場周辺のソーラーカーポートの整備や自営線による施設間電力融通をはじめとした各種整備を実施してきました。また、町内のご家庭や事業所に対しても思い切った支援策を実施してきたところです。

ただ、後ほど事務局から説明がありますが、町が当初想定していたものよりもなかなか順調に進んでいない部分もあります。それは景気の動向や社会の意識といった影響もあるのかもしれない

れませんが、もう一度考えていかなければならないと思っています。長野県のゼロカーボン推進課長からは、エネルギーの自給自足という観点では、どの自治体にも負けていないという評価もいただきましたが、町が当初予定していたところまで追い付いていないのが現状です。

ゼロカーボンシティ宣言から4年経過した今、これまでの取組を改めて見直して、次のステップ、レベルに上げていきたいと思っています。これから下部組織（分科会）も立ち上げていきますので、皆様にご参加いただきながら検討を進めていきたいと思っています。先ほどの基調講演で、茅野先生から「箕輪町らしい取組ができないか」といったお話がありましたが、箕輪町での取組が町民の人生にとってプラスになるんだという思いで進めていきます。

これまでの気候変動の状況は、私たちが原因で起きたことであるので、原因を取り除いて次の世代に渡していきたいと考えていますので、ご協力のほどよろしく申し上げます。

4 自己紹介

出席した委員と事務局全員から自己紹介があった。

5 会議の設置目的について

資料6に沿って事務局より説明を行った。

6 委員長の選任について

委員から立候補及び推薦はなかった。

事務局の提案により番号7の委員を推薦し、委員長に選任された。

7 事業経過及び事業効果等について

事務局より資料2～資料5をもとに説明を行った。

会議時間内に質疑応答はなかった。

8 協議事項

(1) 今後のゼロカーボン推進体制について

事務局より資料6～資料10をもとに説明を行い、各科会の設置を提案した。

茅野氏：

今回の会議がスタートであって、これからは町が深掘していきたい、あるいは課題があってもなかなか思うように進んでいないテーマが、屋根への太陽光発電設備の設置促進や気候変動への適応、また昨年11月にもシンポジウムを開催したが、ソーラーシェアリングであり、これらの課題を解決するために分科会が設置される。各分科会の構成員はまだ決まっていないので、本会議の参加者も含めて自由に参加でき、また自由闊達な意見交換ができるということが重要だ。本会議には町の関係課長がほとんど来ているし、構成員と町とが腹を割って話ができる会議や分科会となることを希望するが、いかがか。

事務局：

ご関心がありましたら、ぜひ委員の皆様にも分科会にご参加いただきたい。特に気候変動に備える分科会については、あらゆる年代にかかわってくる内容であり、また、幅広い分野についての議論になるので、積極的に参画いただきたく思う。

委員長：

各分科会の参加方法について、委員等に周知してほしい。

事務局：

承知した。気候変動に備える分科会については、大学生の参加であったり、広く町民に参加いただきたいという思いがあったりするので、土日の開催としたい。ソーラーシェアリング分科会については、性質上専門性が高い会議となってしまうが、ご関心のある方はご参加いただきたい。

委員長：

事務局から改めて分科会の参加方法について周知があるので、委員の皆様はぜひ積極的に参加してほしい。

(2) 委員の皆様からの意見・課題の提出について

事務局から委員に対して、町の取組等に対しての意見等を専用フォームで募集する旨を説明した。

(3) その他

なし。

9 その他

なし。

10 閉会